

学校給食費の見直しの考え方について

1 趣旨

物価変動など社会状況の変化による影響下において、本市の目指す学校給食が提供できるよう、学校給食費の見直しの考え方を定めるものです。

2 本市の学校給食が目指す姿

(1) 安全・安心な給食

本市では、吉川産コシヒカリや小松菜など生産者のわかる地場産食材を積極的に使用することで、安全・安心に配慮した学校給食の提供を目指します。

(2) 望ましい食習慣を形成する給食

本市では、多種多品目の食材を組み合わせ、子どもたちの嗜好などを考慮した献立を作成し、成長過程において様々な食材に慣れ、好き嫌いが少なくなり、望ましい食習慣を形成できるよう、原則、主食、主菜、副菜2品、牛乳を基本とした学校給食の提供を目指します。また、主食については、米飯を週4回、パン又は麺を週1回の提供を目指します。

(3) 多様な教育効果のある給食

本市では、郷土食、行事食、外国の料理を毎月1回、取り入れた献立を作成し、自然の恵みや生産者への感謝の気持ちを育てることや、食習慣や食文化を知りマナーを身につけることのできる学校給食の提供を目指します。

3 学校給食費の現状・課題

現在の学校給食費は、平成28年4月に一食当たり小学校240円、中学校280円に改定しました。近年の物価高騰により給食食材についても価格が上昇しており、保護者から負担いただいている学校給食費では、給食の提供が困難となっています。

物価高騰分については、国の臨時交付金などを活用し、令和4年度から給食食材費の公費負担を始めました。公費負担額については、令和6年度までで114,017,632円（決算額）、1食あたり55円となります。

本市の目指す学校給食を提供するなかで、昨今の食材価格の上昇により、食育の観点から望ましい献立を提供していくため、後述のと通りの課題があります。

(1) 現状

① 1食あたりの給食食材費の推移

() は公費負担額 (単位：円)

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
小学校	240(0)	276(36)	289(49)	295(55)
中学校	280(0)	316(36)	329(49)	335(55)

(参考) 平成28年度改定前 小学校：220円 中学校：260円

② 給食食材費の推移

ア 1食あたりの主食単価 (税込)

単位：円

区分		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
米飯	70g	46.71	55.47	56.14	59.90	70.11	83.38	94.62
	100g	68.28	79.24	80.20	85.57	100.16	119.11	135.17
パン	50g	52.50	57.11	56.82	/	58.63	/	61.43
	80g	59.70	65.05	64.62	/	66.41	/	69.07
麺	80g	60.84	68.03	67.23	/	72.26	/	76.53
	100g	71.41	79.86	78.86	/	84.86	/	89.72

※主食の改定は4月及び11月に実施されます。

年度内の改定がない場合は、4月の改定額が通年の価格となります。

イ 1食あたりの牛乳価格（税込）

単位：円

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
200ml	53.49	58.38	63.73	64.87
250ml ※	66.87	72.97	79.67	81.09

※5月～10月は、中学校の牛乳提供量が250mlとなる。

ウ 1食あたりの副食（おかず等）の価格

副食に充てられる金額＝給食食材費（公費負担分を含む）－（主食＋牛乳価格）

区分	令和4年度 公費負担なし	令和5年度 公費 36円	令和6年度 公費 49円	令和7年度 公費 55円
小学校	136.20	162.15	165.37	146.75
中学校	152.31	172.54	171.65	142.78

【参考】総務省：消費者物価指数（食料）の推移

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
指数	104.5	112.9	117.8	128.6
上昇率(前年比)	—	108.0%	104.3%	109.2%
R4-R7 上昇率	—	—	—	123.1%

※消費者物価指数の基準改定に伴い、令和2年度（2020年）＝100とする。

※令和7年については、11月の消費者物価指数とする。

③主な献立を作成する場合の給食食材費の比較

(税込、単位：円)

1食分の献立	小学校			中学校		
	H28	R6	価格上昇率	H28	R6	価格上昇率
栄養価	エネルギー：626kcal たんぱく質：21.5g			エネルギー：830kcal たんぱく質：27.1g		
主食＋牛乳	98.38	123.63	125.7%	120.49	157.35	130.6%
チキンカレー	73.32	82.28	112.2%	87.98	98.73	112.2%
カラフルソテー	28.48	36.93	129.7%	35.02	45.35	129.5%
冷凍みかん	32.00	54.00	135.7%	32.00	54.01	149.9%
合計（税込）	232.18	296.84	127.9%	275.49	355.44	129.0%

1食分の献立	小学校			中学校		
	H28	R6	価格上昇率	H28	R6	価格上昇率
主食＋牛乳	98.38	123.63	125.7%	120.49	157.35	130.6%
豚汁	46.43	54.40	117.2%	55.72	65.28	117.2%
さばの塩焼き	44.28	68.04	153.7%	52.92	78.84	149.0%
切干大根の煮物	19.08	26.20	137.3%	22.89	31.44	137.4%
合計（税込）	208.17	272.27	130.8%	252.02	332.91	132.1%

1食分の献立	小学校			中学校		
	H28	R6	価格上昇率	H28	R6	価格上昇率
主食＋牛乳	98.38	123.63	125.7%	120.49	157.35	130.6%
中華大根スープ	33.18	37.38	112.7%	39.81	44.85	117.2%
鶏肉の唐揚げ	60.37	75.00	124.2%	74.17	86.97	117.3%
ナムル	23.43	27.05	115.5%	30.07	35.49	118.0%
合計（税込）	215.36	263.05	122.1%	264.54	324.66	122.7%

(2) 課題

①使用できる食材の減少 食材選定の制約

学校給食では様々な食材を使用した献立を提供することを目指していますが、近年、生鮮食品を中心に特に魚類、野菜類等の価格が上昇しており、安価な食材を選定しているため、使用できる食材の種類が限られてしまいます。

『魚類』

種類	重量	価格			価格上昇率 H28～R7
		平成28年度	令和4年度	令和7年度	
さば切り身	50g	41円	53円	75円	183%
鮭切り身	50g	55円	80円	90円	164%
いか切り身	50g	48円	52.8円	79.5円	166%

『肉類』

種類	重量	価格			価格上昇率 H28～R7
		平成28年度	令和4年度	令和7年度	
豚もも小間切肉	1kg	800円	745円	920円	115%
鶏もも小間切肉	1kg	950円	790円	1,200円	126%

『加工品』

種類	重量	価格			価格上昇率 H28～R7
		平成28年度	令和4年度	令和7年度	
ハンバーグ	60g	37円	39円	44円	119%
レバー入り フランク	40g	46円	45.2円	54円	117%
春巻	50g	35円	38円	34円	97%

②果物やデザートなど、子どもたちの楽しみと季節感の不足

果物やデザートなどは、ビタミンなどの栄養素の摂取だけでなく、子どもたちの楽しみの1つとなり、併せて季節を知るための重要な要素ですが、一方で比較的高価なため、近年、定期的に提供することが難しくなっています。

種類	重量等	価格			価格上昇率 H28～R7
		平成28年度	令和4年度	令和7年度	
冷凍みかん	60g	32円	47円	78円	243.75%
柏餅	1個	45円	47円	53円	117.78%
アイスゼリー	1kg	660円	660円	820円	124.24%

③米飯の提供回数が減少している

文部科学省は、米飯給食実施回数は週3回以上を目指すこととしており、本市においても年週3回提供していますが、近年では米価の上昇により、提供回数が減っています。食文化を通じた郷土への関心を深めるとともに、食文化の理解・継承を図るため、米飯給食の回数を増やすことが求められています。

「学校における米飯給食の推進について」

(平成21年3月31日 文部科学省スポーツ・青少年局長通知)(抜粋)

米飯給食の推進については、週3回以上を目標として推進するものとする。この場合、地場産物の活用推進の観点から、地場産の米や小麦を活用したパン給食など、地域の特性を踏まえた取組にも配慮する。また、地域や学校の事情等により実施回数が異なっている現状にかんがみ、以下のように、地域や学校の事情等に応じた段階的、漸進的な実施回数の増加を促すこととする。

- 1) 大都市等実施回数が週3回未満の地域や学校については、週3回程度への実施回数の増加を図る。
- 2) 既に過半を占める週3回以上の地域や学校については、週4回程度などの新たな目標を設定し、実施回数の増加を図る。

(3) 今後の献立の方向性

①様々な食材の使用

肉、魚、野菜など様々な食材を使用してバランスの良い献立の提供を目指します。

②果物やデザートなど、子どもたちが楽しく、季節を感じる献立の提供

果物やデザートの提供回数、種類を確保した給食の提供を目指します。

③米飯給食の回数の維持

週3回以上の米飯給食の提供を目指します。

4 物価高騰を踏まえた給食材料費の必要額

食材価格の動向や望ましい献立のあり方を踏まえ、できる限り地場産食材を使用するなど、安全・安心を確保したうえで、望ましい給食を提供するために、次のとおりの給食材料費が必要となります。

(1) 現行の献立を維持した場合

区分	現行		必要額	
	月額	日額	月額	日額
小学校	4,100 円	240 円	5,200 円	310 円
中学校	4,900 円	280 円	6,100 円	360 円

〈必要額の算定式〉

①令和7年度予算（12月補正後）給食材料費 387,104,000 円

②年間提供可能食数 1,254,000 食

小学校 4,235 人×190 日≒805,000 食 中学校 2,235 人×190 日≒425,000 食

教育センター、SPC 等 70 人×190 日≒14,000 食

その他（図書ボランティア、スクールカウンセラー等）10,000 食

③中学校割増率（1日単価より）1.17 280 円(中)÷240 円(小)≒1.17

※中学校割増率 小学校提供量と中学校提供量の差

④給食材料費（日額）

・小学校 ①×0.65≒251,620,000 円÷805,000 食≒310 円

・中学校 310 円×1.17≒360 円

⑤給食材料費（月額）

- ・ 小学校 310 円×17 日=5,270 円≒5,200 円（100 円未満切捨て）
- ・ 中学校 360 円×17 日=6,120 円≒6,100 円（100 円未満切捨て）

5 学校給食費無償化との関係

公立小学校においては、令和8年4月から国による「学校給食費の抜本的な負担軽減（いわゆる学校給食費の無償化）」が開始される予定です。公立中学校の生徒分については、公立小学校の児童への支援との公平感に配慮し、国の物価高騰対策臨時交付金等を活用し、令和8年度は、現在の学校給食費に据え置きます。なお、公立中学校の学校給食費にかかる予算については、令和8年3月市議会定例会における審議、議決を経て決定されます。

6 今後の学校給食費の見直し頻度

給食食材価格の変動に対応し、安全・安心な学校給食を安定して提供していくため、今後、学校給食費については、国から自治体に対する学校給食費の抜本的負担軽減に係る支援の基準額見直しに合わせて、適宜、見直しを検討します。

7 全国・近隣市町の給食費の現状（参考）

【学校給食実施状況調査】 R5.5.1 時点 文科省調査

学校給食費（食材費相当額）の全国月額平均は、都道府県間で1.4倍弱の開き

滋賀県 3,933 円 < 小学校平均 4,688 円 < 福島県 5,314 円

滋賀県 4,493 円 < 中学校平均 5,367 円 < 富山県 6,282 円

【近隣の給食費（月額）】 R7.9.1 時点

（単位：円）

自治体名	小学校	中学校	最終改定	備考
吉川市	4,100	4,900	H28年4月	
春日部市 (庄和地域)	4,400	5,100	R2年4月	
	4,100	4,800		
越谷市	4,684	5,553	R7年4月	給食費（保護者負担額） 小：4,000 中：4,850
三郷市	3,950	4,700	H31年4月	
草加市	5,000	5,900	R6年10月	R8改定予定
八潮市	4,180	4,920	H28年4月	
松伏町	4,922	5,700	R6年4月	年額徴収 小：54,150 中：62,700
加須市	3,800	4,400	H24年4月	R4年度～R7年度 5箇月 間の学校給食費一時免除
羽生市	4,100	4,900	H24年4月	
行田市	4,100	4,850	H28年4月	
久喜市	4,150	4,960	H29年	
杉戸町	4,300	5,000	R2年4月	